

みんなが自分らしく暮らす社会のために

決めつけないで

思い込みや決めつけて、
性別や恋愛のことを話さない
性別を決めつけないで
見た目で決めつけないで
あなたのまわりにマイノリティ
の人たちがいる前提で

否定しないで

違いや多様な性を尊重しよう
どうしてほしいか、その人に
聞いてみよう
知った情報を本人の許可なく、
他人に絶対、話さない★

応援のメッセージを

偏見や差別的な発言には
「それはおかしいよ」と
伝えよう
肯定的なメッセージや
発言、行動を

安心できるように

誰でも使えるトイレを増やそう
制服や服装など選択肢を増やそう
その性別記入欄は必要？
不便や困りごとを解決しよう

関心を持って

家族の姿もさまざまです
関心を持って、ニュースや
社会の動きを見つめましょう
学習会や研修などに参加しま
しょう

私らしさ
あなたらしさを
大切に
みんなが
自分らしく
暮らせる社会を！

★本人の許可なく性的マイノリティであると暴露することを「アウティング」といい、大きな問題になっています



私たちは、だれもが、
自分らしく生きることを願っています。

性別や、好きになる性、見た目などにかかわらず、
みんなが、自分のことを自分で決めて、
いきいきと暮らすことができる社会をつくるのは
私たち一人ひとりの力です。

奈良県では、市町村、関係機関・団体が協力して、
毎月11日は「人権を確かめあう日」とし、
「人は等しい」を合い言葉に、
一人ひとりが人権について考え、
ともに行動しようとしてよびかけています。

みんなで力をあわせ、「人権のまちづくり」を
めざしましょう。

人権相談

- 各市町村の相談窓口
- なら人権相談ネットワーク事務局（奈良県くらし創造部人権施策課） **tel** 0742-27-8719 **fax** 0742-27-8721
- 奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会 **tel** 0744-22-9611 **fax** 0744-22-9711

みんなが自分らしく

性の多様性と 性的マイノリティの人たち



性のありようは多様です

「女性」「男性」「性別」とは何でしょうか？

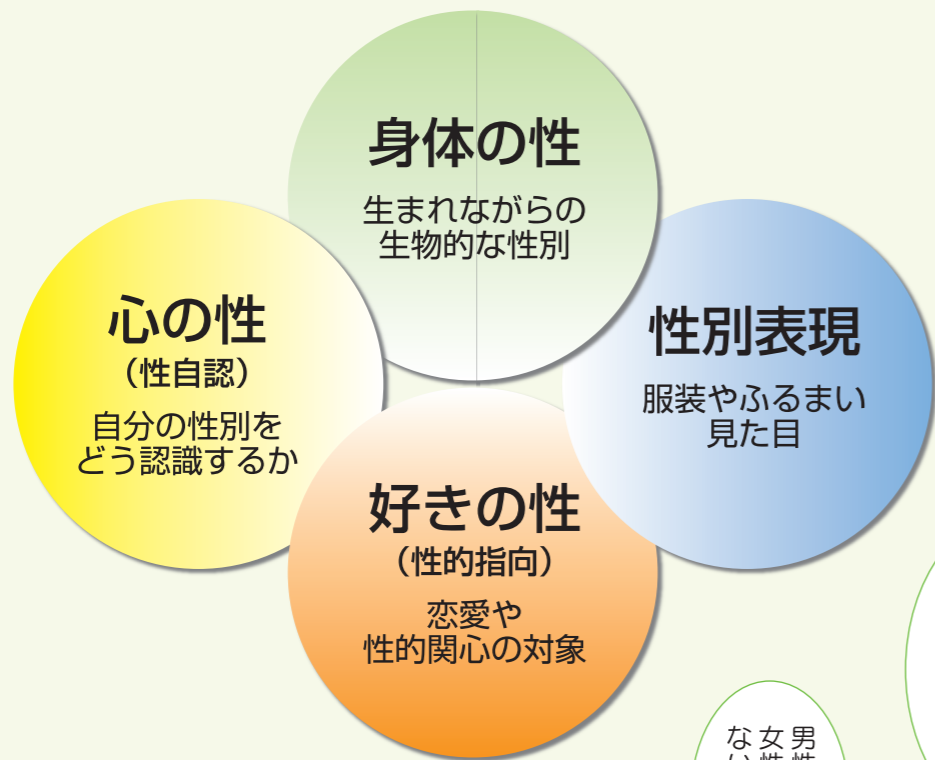
人は、見た目、身体、心の性別が必ず一致しているとは限りません。

また、誰もが、恋愛の対象が異性とは限りません。

テレビや映画の中だけではなく、私たちが暮らす奈良県にも、

同性を好きになる人、同性も異性も好きになる人、身体の性別に違和感がある人など、

「性的マイノリティ（少数者）」や「LGBTQ」等といわれる人たちが、たくさん暮らしています。



L	レズビアン	同性を好きな女性
G	ゲイ	同性を好きな男性
B	バイセクシャル	同性にも異性にも魅かれる人
T	トランスジェンダー	出生時と異なる性別で生きる人
Q	クエスチョニング	わからない、決めつけない
X	エックスジェンダー	女か男のどちらかと認識しない人
A	アセクシュアル	性愛対象がない人



性的マイノリティの人たちの多くは、学校や職場、友人や家族にも、自分のことを言えないで暮らしています。

「理解されないのではないか？」「差別をうけるのではないか？」「親は悲しむのではないか？」

と、不安に思っているからです。

「性的マイノリティの人たちに出会ったことがない」というのは、「存在に気づいていないだけ」なのです。

性的マイノリティの人たちの困りごと

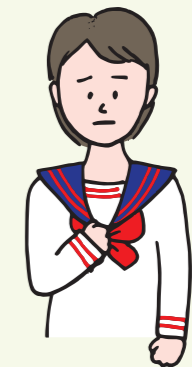
私たちの社会は、性別は「女性」か「男性」だけで、異性を好きになることを「あたりまえ」として、

制度や仕組みがつくられてきました。性的マイノリティの人たちの存在を想定していない社会です。

性的マイノリティの人たちは、さまざまな場面で、不便や、生きづらさを感じながら暮らしています。

心と身体の性別がちがう人の場合

- 「トイレが困る。男性用、女性用も入りにくい」
- 「水着や着替えがづらい」
- 「自分らしい性別の服が着られない」
- 「男女別の制服が苦痛で不登校になった」
- 「身分証などの名前や性別と、見た目の性別が一致せず、本人かどうか疑われてしまう・・・」
- 「身体の性別であつかわれる。医療機関や介護、学校の修学旅行の風呂や部屋割りなど・・・」



本来の自分らしい「心の性別」で、暮らすことができない...

同性が好きな人の場合

- 「同性同士は結婚することができない」
- 「同性パートナーが家族としてあつかわれぬ」
- 「病院で、「家族にだけ」と、パートナーの病状を教えてもらえなかった」
- 「福利厚生や家族としての保障や制度を受けられない・・・」
- 「いつも、「異性愛者」としてあつかわれる・・・」
- 「結婚は？彼女は？彼氏は？と聞かれる・・・」
- 「ママ（パパ）2人と子どもという家族もあるのに、多様な家族やライフスタイルへの理解が不足している・・・」



嫌だったこと、つらかったこと、悩み

- 「ホモ、レス、オカマ、気持ち悪い、キモイ、と言われた」
- 「いじめられた」「からかわれたり、笑いの対象にされた」
- 「男（女）らしくしろと、言われてしまう」
- 「すてきな異性に出会ったら変わるよ、そのうちに治るよ、と言われる」
- 「ずっと自分が変だと思っていた・・・」
- 「誰にも相談できない」
- 「人と深くつきあわず、距離をおいてしまう」
- 「社会の中で、存在しないことになっている・・・」
- 「将来への希望がもてない・・・」
- 「情報や、ロールモデルがない・・・」

